

五感の翼
を広げよう

iichiko
総合文化センター
大分県立美術館

抽選で/
読者プレゼント!!
詳しくは裏面をチェック!

総合情報誌

2023
SUMMER

101
Take Free

そして
現在

140年、

猫と巡る

2023.
6.9^金 - 8.15^火

大分在住のアーティストと
朝倉文夫彫刻が、
大展示空間で共存、共鳴する、
全く新しい朝倉文夫展!

朝倉文夫 生誕一四〇周年記念

Participating Artists
安部泰輔 / ザ・キャビンカンパニー

撮影: 田村茂

CONTENTS 住友コレクション名品展 フランスと日本近代洋画 7/1(土)~8/31(木)

こどもたちへ -未来へつなぐ、こころ育む-

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ 2023年ジュニアオケ始動!



展示していて、私たちが作る「明日の門」は、その最後の部屋に展示します。「明日の門」は鑑賞者がぐくぐり抜けることで完成します。歴史をタイムワープし、外の世界へ出て行って、大分の街なかにある朝倉彫刻と再会する。時代によって朝倉彫刻の価値観はどんどん変わっていききました。「明日の門」は、そんな価値が変わっていくものの象徴として表せないかなと。

阿部 英雄の象徴だった軍人像が、戦後には悪しき象徴となり、排除された。そうあるべきだった概念が揺らぎ、明日には違うものとなる。今私たちが見ている現代も移ろいの世界にあり、絶対的な価値と



いうものは存在していません。門から出た人たちがこれからの時代を作っていくのは、今回は自分たちの作品制作だけでなく、展覧会全体の立ち上げから皆で取り組んでいます。作品を作るだけでなく、チームで展覧会を作るといった機会をもらえて、とても楽しいですね。

塩塚 会場デザインを依頼されて思ったのは、彫刻展なので、まずは彫刻を置く台座を考えないといけないなと思いました。朝倉作品に、さらに別のデザインが入ってくると鑑賞には良くないので、極力デザインしない方法がないかと考え、さらにOPAMを設計した坂茂さんの建物に対して、どう示すかということも考えました。美術館の床は475mmの拵目に

しいし、古くから付き合いのある安部君をはじめ、素晴らしいメンバーと展覧会を最初から作り上げられるのは新鮮な体験でしたし、感慨深いです。最初に、今回の展示の構想を聞いたときは、これは面白



なっている、それを活かし、手を加えることを抑え、床からせり上がってきたかのようなデザインにしています。

古庄 どれだけ考えたかという思考だけが最終的に形になるのが、展覧会のための建築家の仕事としては大事なかなと。本展は「猫」の作品が中心となりますが、猫は自由気ままに歩いていきます。そんな視点で人間も自由に展覧会を楽しんでもらえたらと。美術館の空間ではあるのですが、街や公園で見られるような自由度を持たせ、新たな視点で朝倉さんの作品を見せていく。様々な表現方法を考えていく中で、抽象化し、要素をそぎ落とす、結果台座を上下させることで、その自由さが十分表現できると考えました。

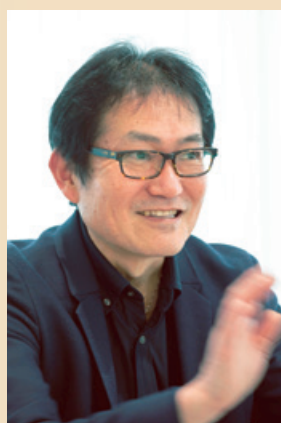
長門 地元で小さい頃から身近な存在だった朝倉文夫の展示にグラフィックデザイナーとして携われることはとてもうれ



人たちにも展示を見てもらいたいし、何度も足を運んでもらいたい。大分県の人たちに朝倉さんをもっと知ってほしい。彼の作品は全国にたくさんあります。今回の展覧会で朝倉さんをより知ってもらいたい、実際、全国の朝倉作品を観に行ってもらいたいですね。

い展示になるだろうなと、とてもワクワクしました。

木ノ下 私の役割としてはWEBを使っての広報となります。広報という枠を超えて、作り手側からの発信もしたいと考えています。今まで美術館に来たことのない



吉岡 今回はOPAMの白い箱の中だけでは終わらない展示。展覧会では朝倉さんが生きた明治・大正・昭和の作品を順に



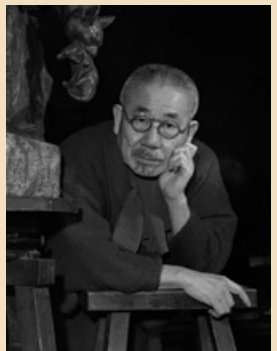
2023年は彫刻家の朝倉文夫生誕140年にあたります。本展では、朝倉文夫の創作を振り返るとともに、大分を拠点に国内外で活動を展開する美術家 安部泰輔と絵本作家/美術家 ザ・キャビンカンパニーを迎え、朝倉の「猫」作品を軸に、彼らの視点で朝倉文夫、そして「猫」を捉え直し、顕彰、競演するものです。本展に携わるキーパーソンたちにお話をお聞きしました。

成させることが、重要になってくるかと思っています。この展覧会では、朝倉作品だけでなく、近代のもの、現代のもの関係なく伝えたいと思いました。今回のメンバーから、それを表現できると思ったし、美術館の人たちと一緒にものを作る、それに至る関係性が作れるいい機会になると思っています。今朝倉さんになん

宇都宮 本展は朝倉文夫の生誕140年を記念し、朝倉文夫の功績を顕彰し開催するものです。本展が、今の私たちにどうして朝倉さんはどんな存在なのか、そこから学ぶことや参考にすることはないので、ろうかと考える機会になるといいかなと。朝倉さんが主ではありませんが、そこに現代作家の人たちの視点を加えて組み立てられたら面白いと思います。本企画が立ち上がりました。安部泰輔さん、ザ・キャビンカンパニーさん、2組とも大分出身で、期待値以上の何かをやってくれるだろうと思いい依頼しました。あとは安部泰輔さんとの話し合いなどもふまえ、その他のメンバーが決まっていたような形ですね。

安部 箱の中だけで展覧会を成立させるのは、時代的にも古いかなと。これからは展覧会も外と関わりながら作品を完

右から/塩塚隆生(建築家・塩塚隆生アトリエ代表)、古庄恵子(塩塚隆生アトリエパートナー)、ザ・キャビンカンパニー 吉岡紗希(絵本作家/美術家)、安部泰輔(美術家)、ザ・キャビンカンパニー 阿部健太郎(絵本作家/美術家)、長門敦(グラフィックデザイナー)、木ノ下結理(WEBデザイナー)、宇都宮壽(大分県立美術館学芸企画課長)



撮影：田村茂

140年、猫と巡る

そして現在



《よく獲たり》(1946年) 大分県立美術館蔵

会期 6/9(金)~8/15(火) 会場 大分県立美術館 1階 展示室A・アトリウム

朝倉文夫 生誕140周年記念 猫と巡る140年、そして現在

開催時間：10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで)
観覧料：一般1400(1200)円、高校・大学生1000(800)円※()内は有料入場20名以上の団体料金※中学生以下無料
お問合せ：大分県立美術館
Tel.097-533-4500

印象派が始まる前の作品

MONET

印象派が始まって数年後の作品



クロード・モネ〈サン＝シメオン農場の道〉1864年



クロード・モネ〈モンソー公園〉1876年



オーギュスト・ルノワール〈静物(ブラム)〉1905年ごろ



斎藤豊作〈秋の色〉1912年

住友コレクション名品選 フランスと日本近代洋画

開催時間：10:00~19:00、金・土曜~20:00(入場は閉館の30分前まで) 観覧料：一般1200(1000)円、大学・高校生1000(800)円※()内は有料入場20名以上の団体料金※中学生以下は無料
お問合せ：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

く、鑑賞を望む人や若い絵描きたちにも公開しました。須磨別邸は絵画の啓蒙の場でもあり、伝承の場だったのでね。——洋画コレクションの見どころを教えてください。印象派と古典派という19世紀のフランスの2つの系統の絵画を一緒に見ることができるところです。19世紀半ばは、今のようなチューブ入りの絵具が開発され、絵の描き方が変化した時代でした。チューブがなかった時代は、絵具の持ち運びが難しいので終始アトリエで制作されました。同じ色の箇所から塗っていく、部分的に完成させていくので、色数が少ないのが特徴です。古典派の絵画の多くは、この技法で描かれました。一方、チューブの油絵具が誕生すると、手軽に持ち運びが

できるようになり、屋外で光を多く取り入れて描く印象派が登場したんです。19世紀はこのような過渡期にあつたため、古典派と印象派という全くちがう性格の名画が、同時期に生まれたわけです。古典派の作品では、ジャン＝ポール・ローランズやその弟子の鹿子木孟郎、印象派ではモネやルノワール、その影響を受けた浅井忠や藤島武二などが今回出展されています。2つのスタイルを一度に見ることができると、貴重な機会になるでしょう。——今回の展示の見どころの1つでもあるモネの作品について詳しく教えてください。春翠はモネの作品をとっても早い時期に日本にもたらしています。パリに行った際、モネと親しかった林忠正という美

術商の紹介で、十数点の中から『サン＝シメオン農場の道』(1864)と『モンソー公園』(1876)を選びました。春翠が選んだ2点は、モネの作品のなかではやや地味な印象がありますが、よく見ると構図が似ているでしょう。実は2点の制作時期は10年ほど差があり、印象派が始まる前に、印象派が始まって数年後に描かれたものなのです。比較のために似た構図のものを選ばれたと考えると、興味深いです。——今回展示されるなかで、特に館長の好きな画家を教えてください。黒田清輝の弟子である斎藤豊作という画家です。彼はパリで絵を学び、『秋の色』(1912)のような色彩豊かな点描の絵を描きました。一度は

洋の古美術品は京都に、モネや浅井忠などの近代の絵画は東京に所蔵されました。分館が20周年となった2022年3月には「泉屋博古館東京」としてリニューアルオープン。ギャラリーを増設し、講堂やミーティングルーム、カフェも新しく設置したのです。東京にお越しの際は、お立ち寄りいただけばうれしいですね。——今回、展示される洋画はどのような経緯で蒐集されたのでしょうか？春翠は、1897年に欧米の視察に行きました。そこで名だたる美術館や博物館を訪れ、だれでも美術品に触られる環境に驚いたのです。帰国後、兵庫県神戸市の海辺に須磨別邸という洋館を作り、各部屋を飾るための絵画を集め始めました。例えば、海が見える部屋には海の絵、山側の部屋には緑の多い絵、それから浴室にはヌードという具合で、部屋の用途に合わせて絵が選ばれたわけです。個人的に楽しむだけでなく

住友コレクション名品選

フランスと日本近代洋画 会期 7/1(土)~8/31(木) 会場 大分県立美術館 3階 展示室B



泉屋博古館東京 館長 野地耕一郎

クロード・モネ、オーギュスト・ルノワール、鹿子木孟郎、藤島武二、岸田劉生など、フランスの印象派や古典派の作品と、その影響を強く受けた日本の洋画家たちの作品を有する住友コレクション。住友企業の近代化を進めた実業家・住友春翠と、その子息たちによって蒐集された名品が大方にやつて来ます。コレクションを所蔵する泉屋博古館東京の野地耕一郎館長に、展示作品の特徴や歴史、見どころをお伺いしました。

——まず、住友コレクションの特徴を教えてください。住友コレクションは、住友家第15代当主・住友吉左衛門友純(号春翠)とその子息である寛一と友成が蒐集した品々を中心としています。特徴の1つは近代日本において最初の本格的な洋画コレクションだということです。モネやルノワールをはじめとした19世紀のフランスで活躍した印象派の巨匠たちや、

浅井忠、藤島武二などの日本人近代洋画家の名品を多数所有しています。また、今回は大分では展示されませんが、500点あまりの古代中国の青銅器コレクションも特徴の1つです。古代の青銅器の歴史をたどることができる世界随一の蒐集といえるでしょう。——それらの貴重な住友コレクションを所蔵・公開する泉屋博古館とはどのような美術館なのでしょうか？「泉屋博古館」って、読み方が少し難しいでしょうか？泉屋とは江戸時代から続く住友の屋号からきていて、「博古」は、北宋時代にまとめられた青銅器の図録『博古図録』から取ったものなのです。泉屋博古館は春翠らが蒐集した優れたコレクションを公開するために、1960年に京都に財団が設立されました。その後、東京にも分館をつくることになり、2002年に泉屋博古館分館がオープン。青銅器と中国・日本・東

近代洋画を代表する巨匠たちの名品85点が大分へ！

モネ ジュエテーム

II 2023 コレクション展 II My Favorite Things 美術家たちのお気に入り

会期 6/29(木)～9/3(日)
前期…6/29(木)～7/25(火)・後期…7/27(木)～9/3(日)
休展日 7/26(水)は展示替えのため休展

会場 大分県立美術館 3階 コレクション展示室

福田平八郎《遊鯉》1921年 寄託品



愛猫家として知られる彫刻家・朝倉文夫が猫をモチーフとした作品を数多く制作したように、身近な生き物や草花、風景などお気に入りのものを繰り返し作品のモチーフにした美術家たちは少なくありません。日本画家・福田平八郎にとっての魚、彫刻家・山本常一にとっての鳥、洋画家・中山忠彦にとっての西洋アンティーク衣装。いずれも彼らが繰り返

し作品のモチーフとしたお気に入りですが、これらのモチーフとの出会いは、彼らにとってかけがえのないものとなり、その芸術を大きく飛躍させました。本展は、それぞれの美術家たちの創作の原点となったお気に入りのモチーフを紹介いたします。

また、「朝倉文夫生誕140周年記念 猫と巡る140年、そして現在」に関連した特集展示として朝倉文夫の二人の娘、摂と響子をはじめ、兄の渡辺長男や弟子の日名子実三など、朝倉文夫を取り巻く美術家たちの作品を紹介いたします。

開催時間：10:00～19:00、金・土曜～20:00（入場は閉館の30分前まで）

観覧料：一般300(250)円、大学・高校生200(150)円 ※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下は無料 ※大分県芸術文化友の会 びびKOTOBUKI無料(同伴者1名半額)、TAKASAGO無料、UME団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳をご提示の方とその付添者(1名)は無料 ※学生の方は入場の際、学生証をご提示ください

お問合せ：大分県立美術館 Tel.097-533-4500

関連イベント

ギャラリートーク 開催日：7/9(日)、7/23(日)、8/6(日)、8/20(日) 各日14:00～15:00
※予約不要・要展覧会観覧券

My Favorite Things - Artists' Favorites

見どころ1

九州初！ 日本で最初期の 洋画コレクション



住友グループの礎を築いた住友春翠は、実業の傍ら芸術文化にも力を注ぎ、西洋絵画を積極的に蒐集しました。有名な松方コレクションや大原コレクションに先駆けた、わが国で最も早い時期の洋画コレクションです。本展は今年、当館と島根県立美術館に巡回します。九州では初公開です。

本展最大サイズ！



ジャン＝ポール・ローランス《マルソー将軍の遺体の前のオーストリアの参謀たち》1877年

「グレー」は村の名前です



浅井忠《グレーの森》1901年 ※半期展示

厚く塗られた絵肌に注目！



藤島武二《幸ある朝》1908年

見どころ2

モネからはじまるコレクション

住友コレクションの2点のモネは、「印象派」前後の作風の変化を示す貴重な作品です。今回大分会場に掲げる「モネ、ジュテーム」というキャッチコピーは、作品を分析しようとする者に対して「私の作品はただ愛すればよい」と言ったモネの言葉から連想したものです。いつの時代も無条件に観る者を引きつけるモネの魅力、そしてモネからはじまった住友洋画コレクションの豊かな広がりをお楽しみください。

「ネル」のようにソフトな質感



渡辺與平《ネルのきもの》1910年

見どころ3

時代とともに 移り変わるコレクション

1903年に神戸・須磨に構えた洋館はモネをはじめ数々の絵画が飾られ、訪れる日本人画家たちに鑑賞の機会を与えるとともに、その創作に影響を与えました。ここでは、様々な傾向の絵画がバランスよく飾られ、変化に富む近代絵画を知ることができました。

フランス古典派のジャン＝ポール・ローランスの大作は、二度の渡仏でローランスに師事した鹿子木孟郎が、春翠の依頼により入手した作品です。浅井忠の水彩画は関西美術院建設費を春翠が拠出した縁によるもの。さらには藤島武二、渡辺與平ら、独自の画風を模索し文展等で好評を博した画家の作品も集められます。

住友春翠の慧眼は二人の子息、寛一と友成に引き継がれます。寛一は岸田劉生と親交を結び、「麗子図」をはじめ複数の作品がコレクションに加わります。友成はピカソ、シャガール、ルオーらの作品を集めるとともに、中川紀元、前田寛治、児島善三郎といった日本のフォーヴィスムにも注目します。

この他、梅原龍三郎、岡鹿之助、小磯良平、坂本繁二郎、熊谷守一など、幅広い作風の作品が一堂に会します。ぜひ会場で珠玉のコレクションをご堪能ください。

「デロリ」の美！
必見！



岸田劉生
《二人麗子図
(童女飾髪図)》
1922年

Artist



prism
うきしま こせと 浅井 史帆
浮島小智さん 浅井史帆さん
ホルン ピアノ

「P」IANO(ピアノ)とHO「R」N(ホルン)で奏でる「リズム」、をかけた造語に、音楽をキラキラ輝かせたいという思いを込めた「prism」。今回のテーマは、感染症対策に気を配りつつも、体験を通して肌で楽器のおもしろさを感じてもらおうことでした。「不安だったけどホルンの音が出てうれしかった」との感想があったりと、非日常的な驚きや感動を得られた子どもたちの様子を目の当たりにし、2人にとってもこの演奏会が励みになったそうです。

アウトリーチプログラム

「おでかけクラシックコンサート」

2月8日(水)
宇佐市立深見小学校

同アウトリーチでは4度目の訪問となる深見小学校。prismの姿が見ると「今日のアーティストさんすごい!」と、今回の出会いも楽しみにしていた児童たち。オープニングにふさわしい軽快なファンファーレから始まったコンサートは、ホルンとピアノのデュオという、珍しい演奏形態。楽器次第で曲の印象がガラリと変わる例として、聴きなじみのある校歌を披露し心をつかみます。大人が子どもを大切に想う気持ちを込めた、中原達彦の『ハレルヤ!』では、小さい子どもがいるprismならではの包まれるようなあたたかい音色に、みんなじっと



iichiko総合文化センター

センターでは、子どもたちに音楽家による演奏や舞台公演の鑑賞機会を提供する取り組みを、企業からの支援などにより、学校や地域と連携して行っています。その活動のひとつ、アウトリーチプログラムの「おでかけクラシックコンサート」をご紹介します。

聴き入り演奏後には自然と大きな拍手が…。

集中して鑑賞した後は、初めて見る子どもも多いホルンの紹介コーナーへ。「世界一〇〇な楽器としてギネスブックにも載った」という、〇〇当てクイズでは、「構造が複雑」、「重い」など、じっくり観察して気づいた特徴を口々に答えます。長さ約3.7mにもなるというホルンは、その分音域が広く世界一「演奏が難しい」楽器。唇で音の高さを調整するという特性を、実際に吹いて体験してもらいました。「難しい!」と言いつつも音を出すことに成功し、みんなからは称賛の声が。ピアノの紹介では、全ての鍵盤を鳴らし終えるまでのタイムを児童と競い、浅井さんの速さに「指が生きてる!」と驚嘆。続けて演奏した疾走感たっぷりの、ショパンの『黒鍵』には子どもたちもくぎ付けでした。

最後は、結成当初から2人が大事に演奏してきたアニシモフの『ポエム』。多彩な音色を堪能できるこの曲は、楽器への理解を深めたことでより一層楽しめました。演奏後、質問や感想もたくさん出て、生で聴くだけでなく実際に触って、吹いて、新たな気づきを得たようです。



大分県立美術館

みる、つくる、かんじる
「みんなの土曜アトリエ・体験から鑑賞まで」
体感型・工作型ワークショップとコレクション展示室での作品鑑賞を組み合わせたワークショップ。4歳以上の未就学児から大人まで年齢関係なく、身近なもので美術体験すると、いつもとは違う新たな一面が見えてくる!? 今回は2つのワークショップにお邪魔してきました!

ワークショップ

復活!ふわふわ、もこもこの気持ち

5月13日(土)



新型コロナウイルス感染防止対策のため、しばらく行われなかったOPAM教育普及人気No.1のワークショップ「ふわふわ、もこもこの気持ち」が復活! 通称「ふわもこ」は、布と戯れるワークショップ。布をみんなで広げて揺らして、空気を入れると、布はいろんな形状に変化。布の上で寝転がったり、歩いてみたりすると、まるでふわふわの雲の上にいるようです。全員でタイミングを合わせて空気を膨らませると、まるでお餅のような「ふわもこ」が完成。「ふわもこ」の中にみんなで入り、ワクワク・ドキドキ体験も楽しめました。その後、コレクション展I「楽しむ近世絵画」を鑑賞。日頃目にする機会の少ない本物の美術作品を間近で見て、子どもたちはいろんな発見をしたようです。

ワークショップ

やさしくたく 空き缶ドラム

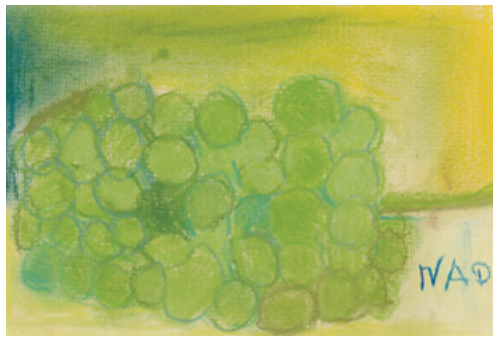
5月20日(土)

4歳以上の未就学児と保護者、合わせて13名が空き缶ドラムのワークショップに参加しました。まずはドラムを叩くスティック作りから。割りばしで空き缶を叩いたときにいい音が鳴るように、割りばしの先にカラフルな輪ゴムをぐるぐると巻いていきます。そして、ペンや毛糸で柄の部分自分好みにデコレーションしたらスティックの完成! 2つのスティックを毛糸で繋ぎ、首にかけられるようにしたり、自分のお気に入りの空き缶を選んで、缶の外側や内側に絵を描いたり、個性溢れるオリジナルのドラムとスティックが出来上がりました。大きさや叩く場所によって音が変わるドラムに子どもたちは大興奮。強く叩いたり、優しく叩いたり、蓋を叩いたり、外側、内側を叩いたり。思い思いの音色を奏でていました。そのあとはコレクション展I「楽しむ近世絵画」をみんなで鑑賞。昔の人のメイクと今の人のメイクの違いなどを発見し、楽しんでいました。



最新のプログラムはこちらから ▶





▲パステル画「マスコット」



▲ひまわりを描く奈央さん

おおいた
障がい者
芸術文化
支援センター

REPORT

5.2(火) - 7.2(日)

藤澤 奈央 作品展

18人目となる今回は、由布市にお住まいの藤澤奈央さんの作品を展示しました。奈央さんはダウン症で、気持ちを言葉にすることは苦手ですが、幼い頃から絵を描くのが得意でした。花や果物など、描く対象をじかに手に取り、その手触りや匂いを感じながら制作しています。

来場者からは「優しさと力強さを感じた」「元気が出る」といった感想が寄せられました。これからも楽しく創作を続けて、見る人の心を癒して欲しいと思います。



▶パステル画「テール」

gallery MAPO

ギャラリー マポ

大分県立美術館 2階にて開催

つくりたいから、つくる。描きたいものを、描く。『gallery MAPO』は、自らの思いを自由に表現した作品を紹介するコーナーです。こうした表現は「アールブリュット(生の芸術)」や「アウトサイダーアート」などと呼ばれています。「MAPO」とは「magic pocket」……「魔法のポケット」という意味を込めました。小さなポケットから魔法のように生み出される不思議な作品たちをイメージしています。大分県内で活躍するアーティストの「生」の表現を、ゆっくりとお楽しみください。

NEXT PICK UP! 7.4(火) - 8.31(木) 夏のポップ展 — 小野天哉・空叶論・こっちゃん —



▲小野天哉「水泳」



▲空叶論「BIG WAVE BOY」



▲こっちゃん「にじいろの少女」

ポップで可愛いイラストを描く20～30代による3人展です。ユニークな題材を色鮮やかに描く小野天哉さん、毎日紙と色鉛筆を手に取り、精力的に絵を描き続ける空叶論さん、「にじいろの魔法」をコンセプトに優しい色合いで日常を描写するこっちゃん。"表現したい"エネルギーが溢れるそれぞれの、夏をテーマにした作品を集めました。見ていて思わず笑顔になる展示です。

【大分県公立文化施設協議会加盟館が主催する舞台芸術公演情報】

Oita Hall Navi

第19回絵本原画展 どいかや展

7/25(火) ▶ 8/6(日)
10:00～17:00
※最終日は15:00まで

【料】 無料
【所】 エイトピアおおの
ギャラリー
【問】 エイトピアおおの
☎0974-22-8000

宇佐歌謡コンサート

9/2(土)
【開演】 11:00
【終演】 13:00(予定)

【料】 (全席指定)
S席 7,000円、A席 5,000円
GLチケット 2,200円
【出】 鳥羽一郎、山川豊、神野美伽、
木村徹二
【所】 宇佐文化会館・ウサノピア
大ホール
【問】 宇佐文化会館・ウサノピア
☎0978-33-3100

【公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3】参加事業
パトリア演劇スタジオ2023 日田市民ミュージカル
「アイになりたい - I want to be "I" -」

9/2(土)・3(日)
2日…【開演】 18:30 【終演】 20:20(予定)
3日…【開演】 14:00 【終演】 15:40(予定)

【料】 (自由席/一部指定席)
一般 1,500円、高校生以下 1,000円
【出】 日田市民
【所】 日田市民文化会館「パトリア日田」
大ホール(やまびこ)
【問】 日田市民文化会館「パトリア日田」
☎0973-25-5000

おおいたホールナビ

日野皓正クインテット withスペシャルゲスト 80th Birth Celebration

11/3(金・祝)
【開演】 16:00
【終演】 17:30(予定)

【料】 一般 6,000円
【出】 日野皓正クインテット、
ゲスト:小野リサ
【所】 日田市民文化会館「パトリア日田」
大ホール(やまびこ)
【問】 日田市民文化会館「パトリア日田」
☎0973-25-5000

※公演内容が変更となる場合があります。詳しくは各館にお問合せください。

iichiko Grand Theater JUNIOR ORCHESTRA

iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラ

DATA
4月
iichiko Space Be
リハーサル室

2023年 ジュニアオケ 始動!

お互いの顔がよく見えるように大きな円になり、オリエンテーションを開催。



4月9日(日)iichiko Space Beリハーサル室にて、2023年度ジュニアオーケストラのオーディションとオリエンテーションが開催されました。緊張した面持ちで挑んだオーディションの結果は全員合格!新たに団員が加わり、今年度のジュニアオケがスタートしました。

午後から行われたオリエンテーションでは、小学5年生から大学2年生までの団員と講師が集まり、自己紹介や今年度の活動の説明がありました。今年はiichikoグランシアタが天井の耐震改修工事のため、福岡市にある「福岡シンフォニーホール(アクロス福岡)」で定期演奏会が行われます。初めての県外公演に向け講師からは、「普段と違う環境だからこそ日々の練習を大切に、それぞれ目標を持って一緒に成長していきましょう」など激励の言葉が送られました。

第15回 定期演奏会

初の
県外公演!

日時: 2024年3月24日(日)
場所: 福岡シンフォニーホール
(アクロス福岡)
指揮: 下野竜也
曲目: チャイコフスキー/
交響曲第5番 小短調ほか

詳細はコチラ



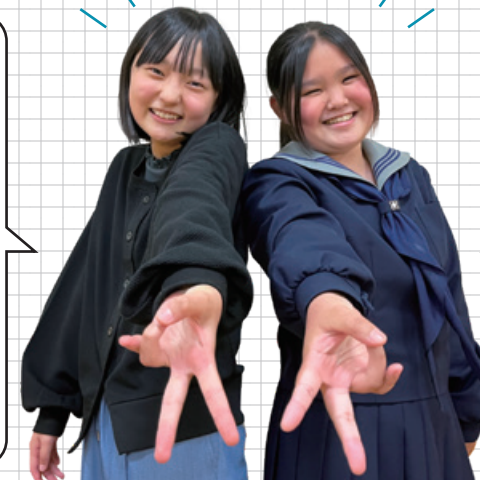
私たちがインスペクターを 務めます!

みなみまがり まお 南曲 菜音さん 高1/ヴァイオリン

インスペクターはオケ自体を支える大切な役割だと感じ立候補しました。弦楽器や管楽器の壁を越えてみんなで交流できるようなオケを目指したいですね。今年の定期演奏会は、福岡で演奏をします。慣れない会場で、事前のホール練習もない中、不安な部分もありますが、こんな貴重な機会はないので、みんなで頑張りたいです!

こまつ みゆ 小松 美優さん 高2/トランペット

同じパートの先輩を見ていて、団員をまとめるって大変だなと思う反面、とても格好いいと感じ、立候補しました。新団員も加わったので、困っていることがないか積極的に尋ねたり、できる限りのことはしっかりサポートしていきたいです。今年は福岡で、下野竜也先生を指揮にお迎えして演奏できることに感謝をし、たくさんの方にご来場いただき、感動を与えられるようなコンサートにしたいです。



ジュニアオケ information

イベント

今年も大分県立美術館でのミニコンサートを開催!
8/27(日)、12/3(日)、3/20(水・祝)の3回を予定しています。
詳細は決まり次第HP等でお知らせします。

団員募集

ジュニアオーケストラでは、
随時団員募集を行っています。
見学もできますので、お気軽にお問合せ下さい。





いち早く予約! お得に鑑賞!

びびメンバー大募集!

「友の会びび」とは大分県立美術館(OPAM)とiichiko総合文化センターを中心に、大分県の芸術・文化を多くの皆さんに楽しんでもらうメンバーシップです。

メンバーステージと年会費

KOTOBUKI
10,000円
TAKASAGO
5,000円
UME
2,500円

会員になると様々な特典が!

見どころや
気になる講座・公演が
観られる!

03

お家でも楽しめる

音楽や美術の専門家による講座や過去の公演など、OPAMとiichiko総合文化センターのここでき観られない動画を観ることができます。
※閲覧には動画サイト「びびVision」への登録が必要です



スキマ時間で
気軽に鑑賞!

01

展覧会の 無料鑑賞・割引

OPAMの主催企画展・コレクション展を無料または割引価格で鑑賞いただけます。KOTOBUKIなら内覧会のご招待も!



お友だちの分も
一緒にOK!
※枚数制限があります

02

チケット 先行予約・割引

iichiko総合文化センターの主催・共催公演の先行予約や割引などがあります。
※令和5年度はホール利用休止のため、主催・共催公演はありません



04

駐車場券進呈

KOTOBUKI
25時間(5,000円分)
TAKASAGO
10時間(2,000円分)

とっても
べんり!



05

“びびSHOP”で
割引やプレゼントがある
OPAMミュージアムショップ、
カフェでも割引あり!



メンバーズ
カードを提示
するだけ!



総合情報誌のお届け

展覧会や公演の情報が詰まった総合情報誌や、チラシ等を定期的にお送りします。

- 特典内容はメンバーステージによって異なります。
- MEJIRO会員(無料)もあります。(情報誌等でお伝えしきれない情報をタイムリーに配信します)

「友の会びび」
詳細はこちら



お問合せ (公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県芸術文化友の会びび
tel.097-533-4025(平日 9:00~17:00)
fax.097-533-4050 E-mail. bivi@opam.jp

抽選で/
読者プレゼント!!



1 『ななはち』オリジナルTシャツ
(猫街ろまん)Mサイズ 1名様

2 『エコフォートハウス』
スポンジワイプ kata kata ねこ 2名様

3 「朝倉文夫生誕140周年記念
猫と巡る140年、そして現在」
ペア鑑賞券 5名様

4 「住友コレクション名品選
フランスと日本近代洋画」
ペア鑑賞券 5名様

締め切り
7/25(火)
23:59

プレゼントのご応募は
アンケートフォームから
応募はこちら▶



※厳選なる抽選のうえ、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
※ご応募に際してご記入いただいたお客様の個人情報は、当キャンペーンのプレゼント発送にのみ使用いたします。

表紙のワード/

「五感の翼」とは?



「芸術文化ゾーン」とは、iichiko総合文化センターと隣接する大分県立美術館とで構成された区域のことを指します。

両施設は翼をはばたかせるように連携して、美術と音楽等幅広い分野の芸術文化の融合と、新しい価値の創造などの活動を展開しています。こうした感性・創造性を磨く「芸術文化ゾーン」を皆様知っていただきたい、そういう思いから「五感の翼」をコンセプトワードにしています。

芸術文化ゾーン

